

令和2年度
小中学生アンケート調査結果

菰野町

目 次

【調査の概要】	1
1. 調査の目的	
2. 調査の設計	
3. 回収結果	
4. 注意事項	
【学校別内訳】	2
【調査の結果】	2
1. あなたご自身のことについて	2
2. 菰野町の住みやすさについて	4
3. まちづくりについて	11
4. 現在の菰野町について	15

【調査の概要】

1. 調査の目的

第一の目的は、町の将来を担う若者が自分たちのまちについてどのように考え、感じているかを把握することで次期総合計画策定に反映させることです。しかしながら、令和元年度町民アンケートにおいて、総合計画についてよく知らない町民が多いという結果が出たことから、菟野町総合計画を知ってもらい、現在から10年後までのまちづくりについて、地域を大切に作る気持ちを醸成するのに影響が大きいと思われるこの時期に、しっかりと考える機会を持ってもらうことも大きな目的としています。

2. 調査の設計

〈調査方法〉 調査票による本人記入方式 各学校による配付・回収

〈調査期間〉 令和2年4月9日～令和2年5月20日

(1) 小学生アンケート調査

調査対象者 町内全小学校 6年生

(2) 中学生アンケート調査

調査対象者 町内全中学校 全学年

3. 回収結果

(1) 小学生アンケート調査

	配布数	回収数	回収率
配布・回収数	389	355	91.3%

(2) 中学生アンケート調査

	配布数	回収数	回収率
配布・回収数	1,119	1,053	94.1%

4. 注意事項

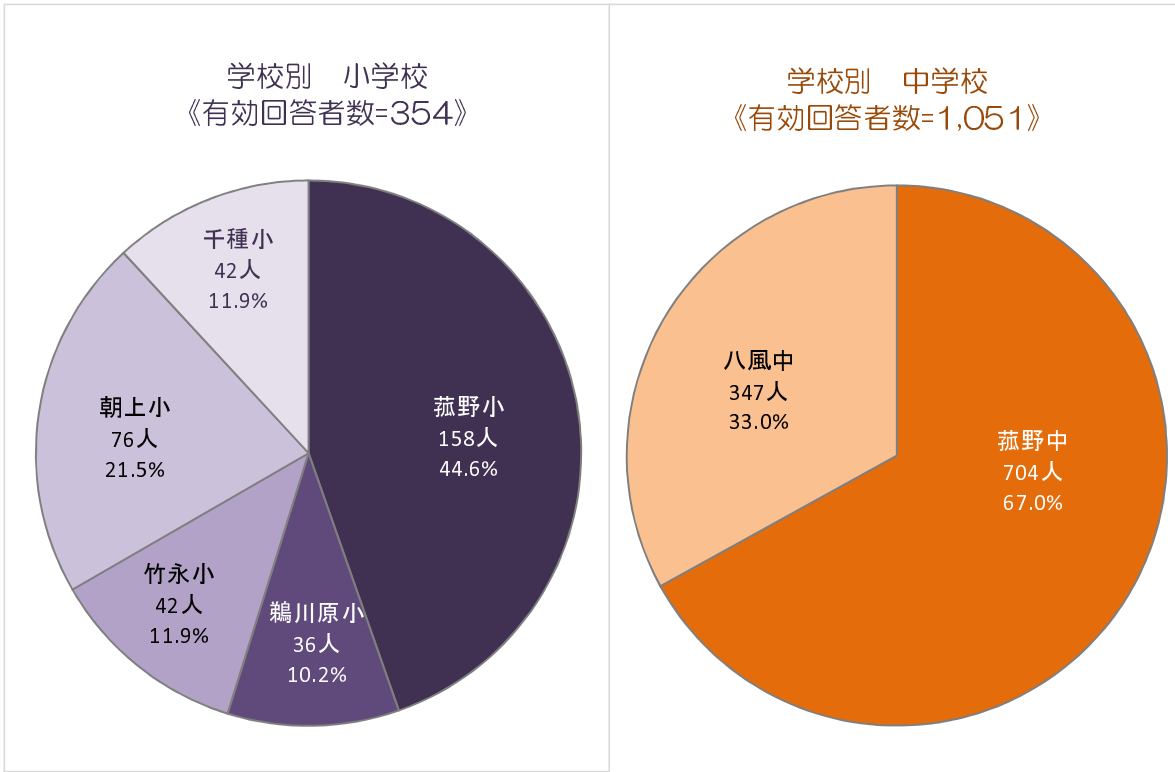
集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合があります。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

グラフおよび表の《有効回答者数》は、「無回答」や「不明」を除く有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

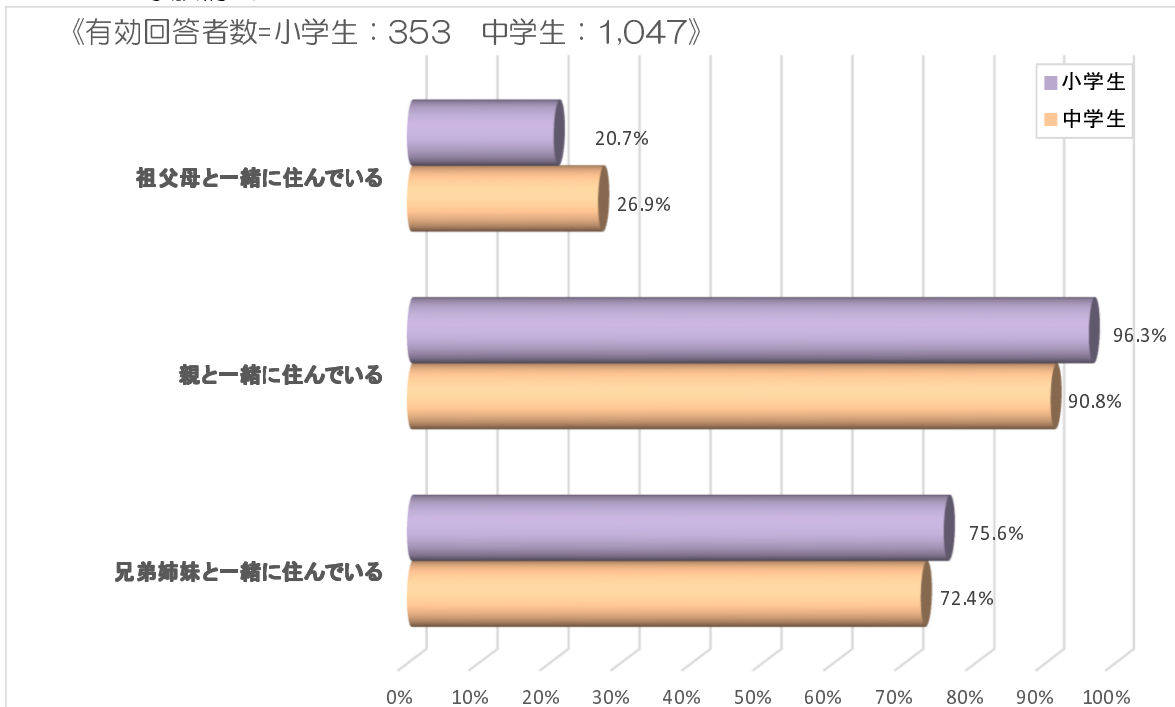
グラフの説明中【 】内は、18歳以上の町民を対象とした令和元年度町民アンケート調査結果との比較です。

【学校別内訳】

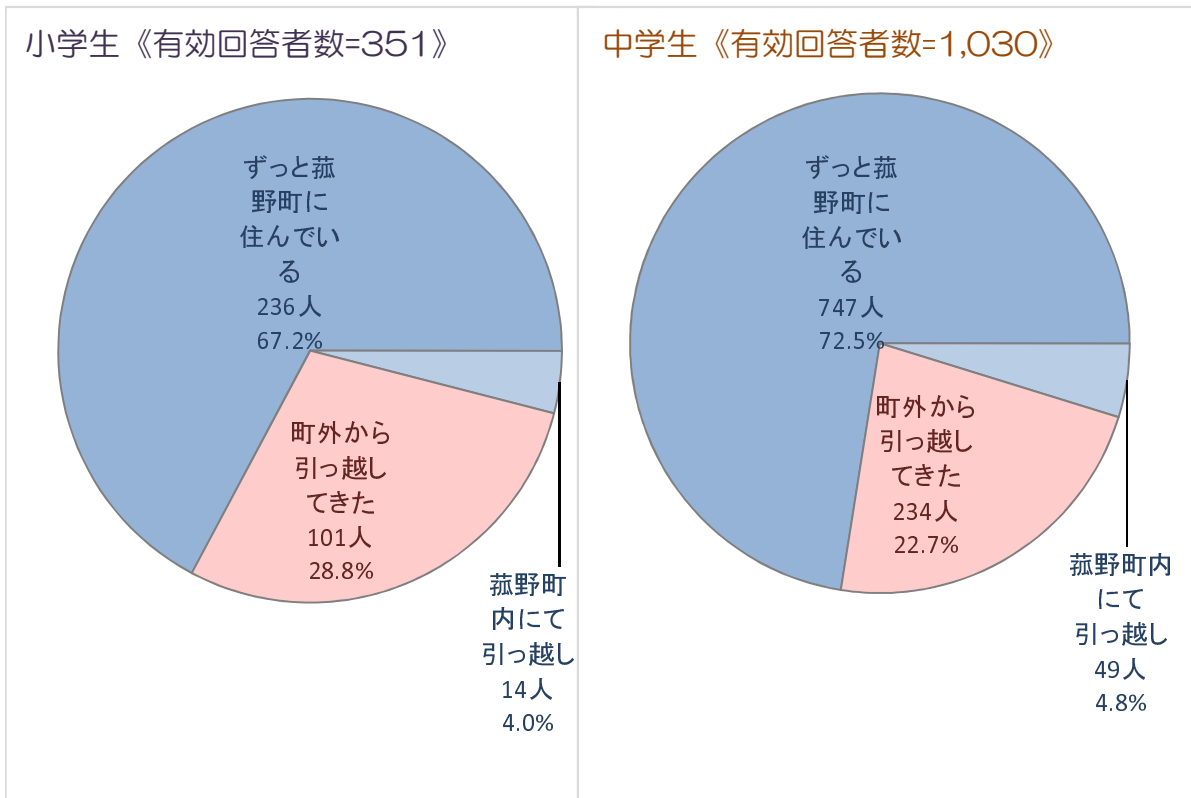


【調査の結果】

1. あなたご自身のことについて
1-1 家族構成



1-2 移住の有無〔択一回答〕



町外から引っ越してきた人の転入前住所内訳

(県内)

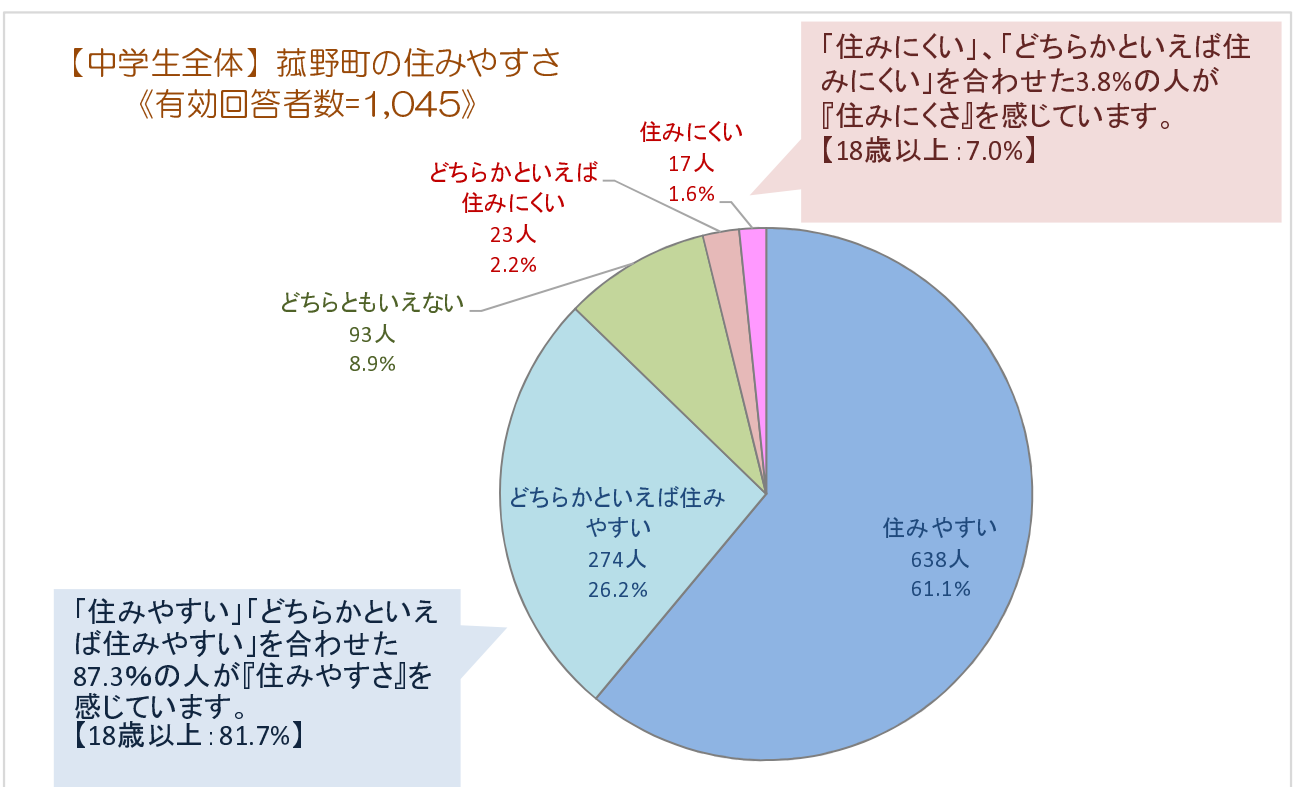
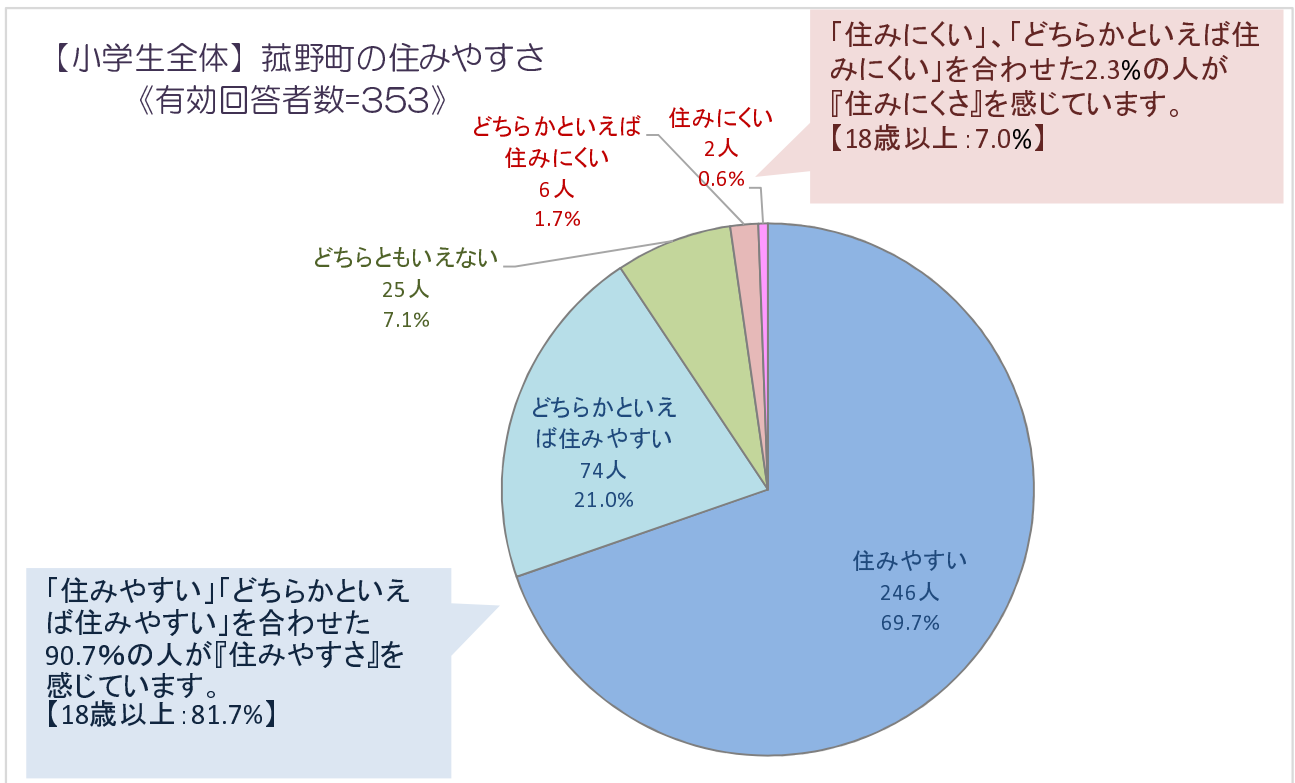
	小学生	中学生
四日市	42名	90名
鈴鹿市	8名	13名
いなべ市	5名	13名
桑名市	4名	9名
川越町	3名	1名
亀山市	-	2名
津市	2名	2名
松阪市	2名	1名
伊勢市	2名	1名
伊賀市	-	1名
朝日町	-	1名
東員町	-	1名
紀北町	-	1名

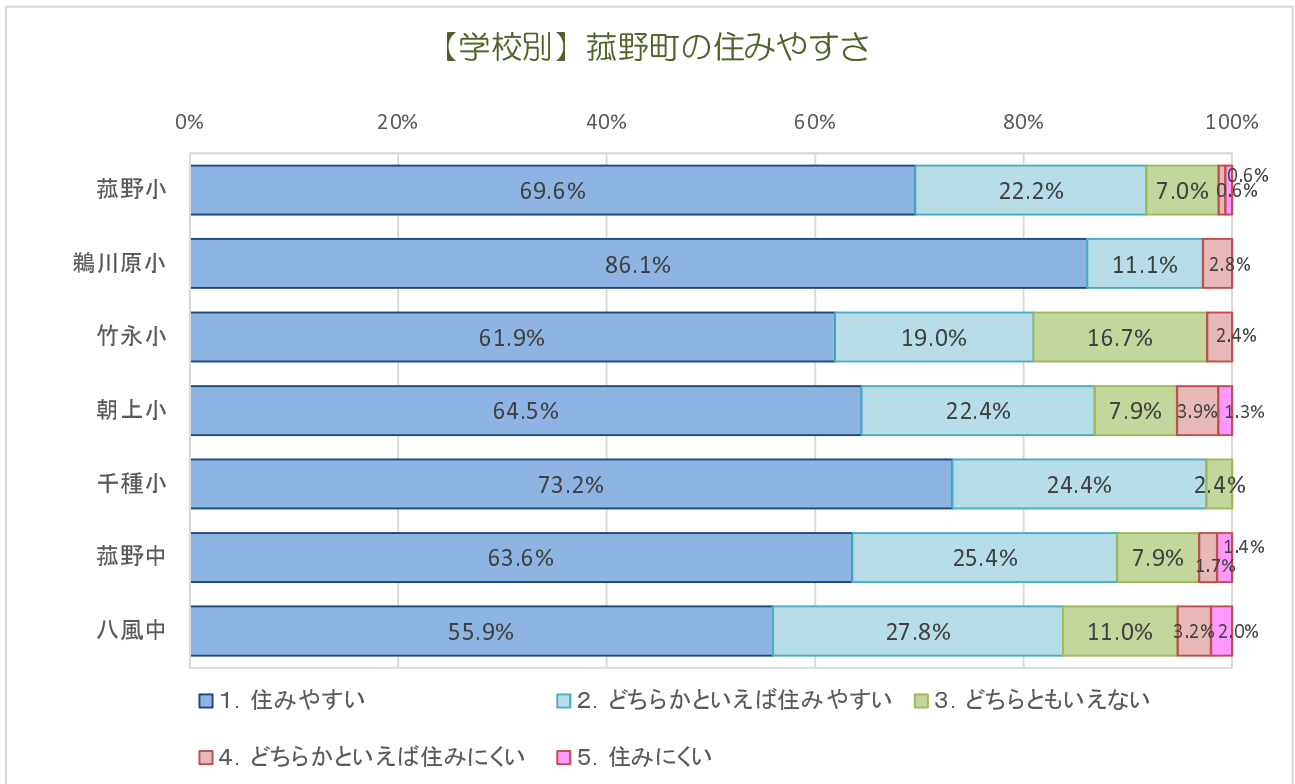
(県外)

	小学生	中学生
愛知県	12名	20名
岐阜県	3名	2名
神奈川県	3名	2名
大阪府	2名	1名
東京都	1名	2名
静岡県	1名	1名
長野県	-	1名
滋賀県	1名	-
奈良県	-	1名
兵庫県	-	1名
富山県	-	1名
山口県	1名	-
愛媛県	1名	-
岩手県	1名	-
熊本県	-	1名
海外	1名	5名
無回答	6名	60名

2. 菰野町の住みやすさについて

2-1 菰野町は住みやすいと思いますか。〔択一回答〕

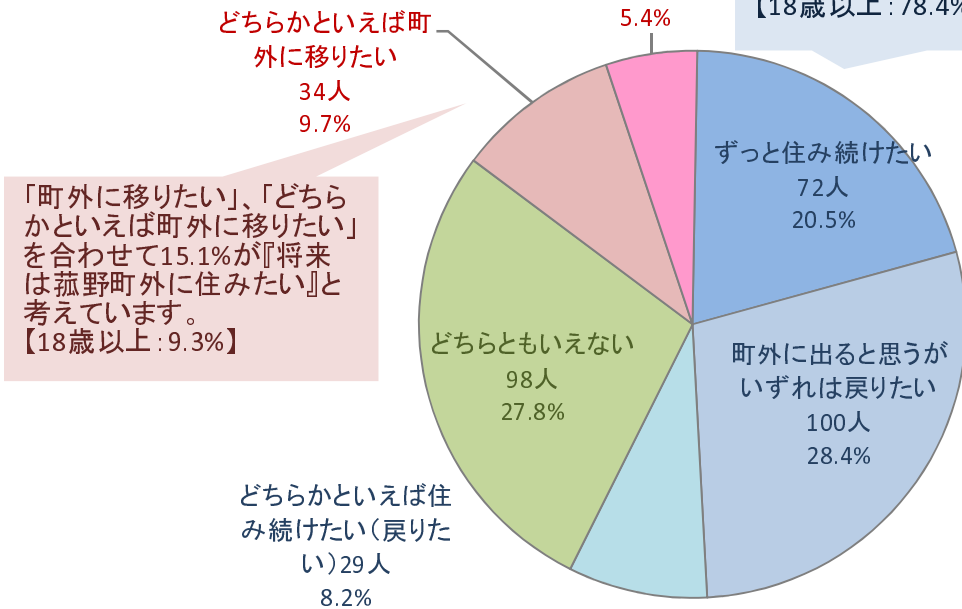




『住みやすさ』を感じている人は、「鵜川原小学校」では97.2%に上り、最も多くなっています。また、「菰野中学校」で89%に上り、「八風中学校」で83.7%でどちらも高い水準になっています。

2-2 あなたは、働くようになっても菰野町に住みたいですか。
あるいは、進学や就職などで菰野町以外に住むこととなった場合、その後菰野町に戻りたいですか。〔択一回答〕

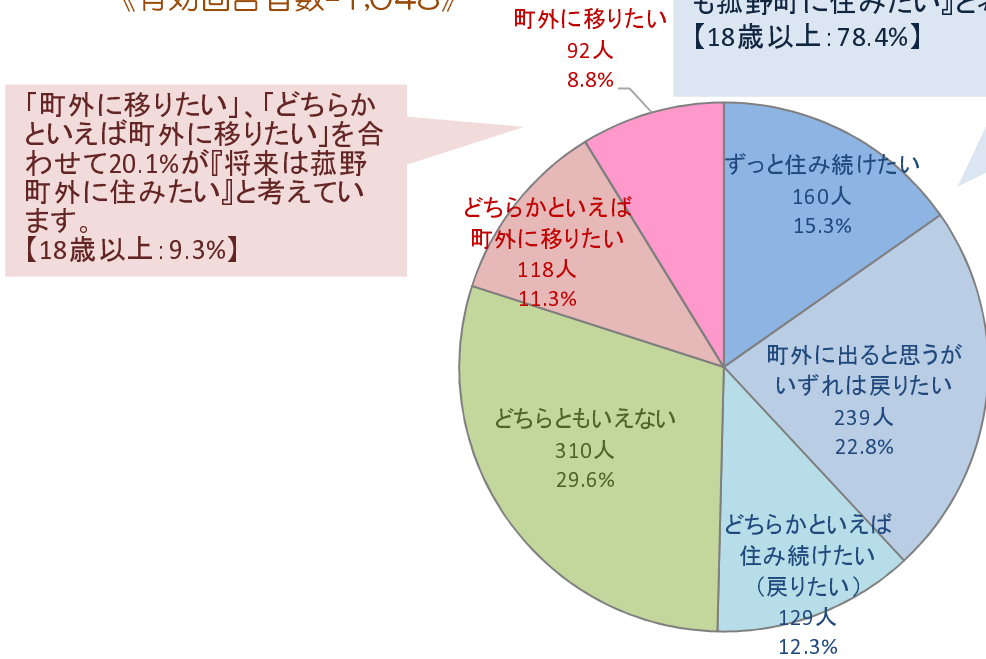
【小学生全体】菰野町に定住する意向
《有効回答者数=352》



「ずっと住みたい」、「町外に出ると思うがいずれは戻りたい」、「どちらかといえば住みたい」を合わせて57.1%が『将来も菰野町に住みたい』と考えています。
【18歳以上:78.4%】

「町外に移りたい」、「どちらかといえば町外に移りたい」を合わせて15.1%が『将来は菰野町外に住みたい』と考えています。
【18歳以上:9.3%】

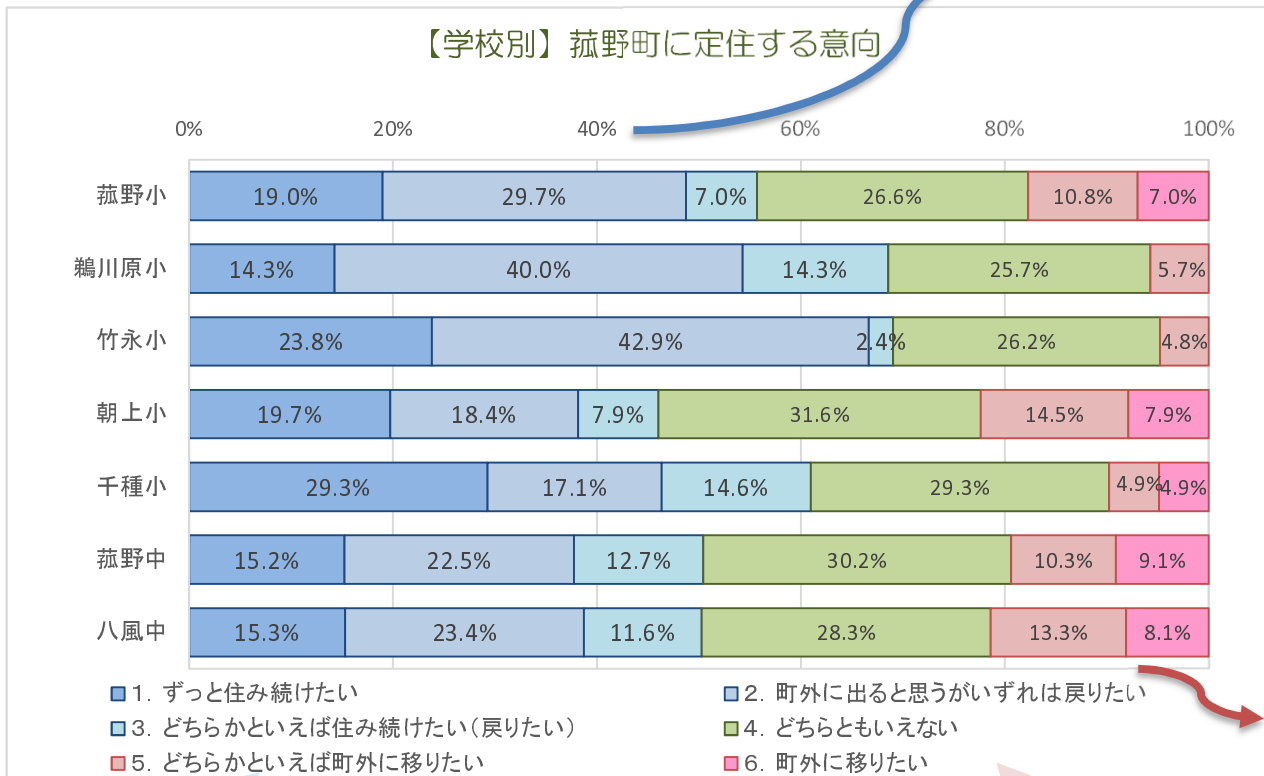
【中学生全体】菰野町に定住する意向
《有効回答者数=1,048》



「ずっと住みたい」、「町外に出ると思うがいずれは戻りたい」、「どちらかといえば住みたい」を合わせて50.4%が『将来も菰野町に住みたい』と考えています。
【18歳以上:78.4%】

「町外に移りたい」、「どちらかといえば町外に移りたい」を合わせて20.1%が『将来は菰野町外に住みたい』と考えています。
【18歳以上:9.3%】

【学校別】菰野町に定住する意向

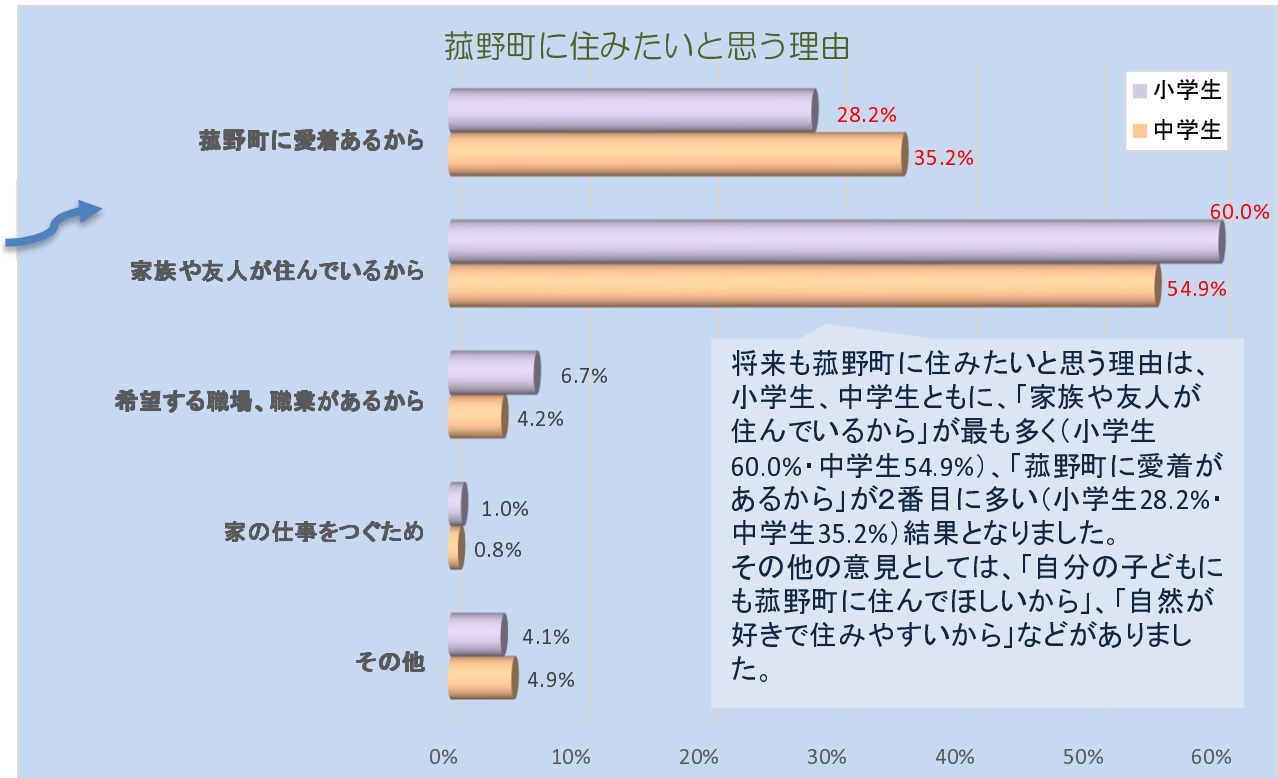


『将来も菰野町に住みたい』と考えている小学生は、「朝上小学校」を除き、50%を上回っています。中学生は、「菰野中学校」、「八風中学校」どちらも50%を上回っています。

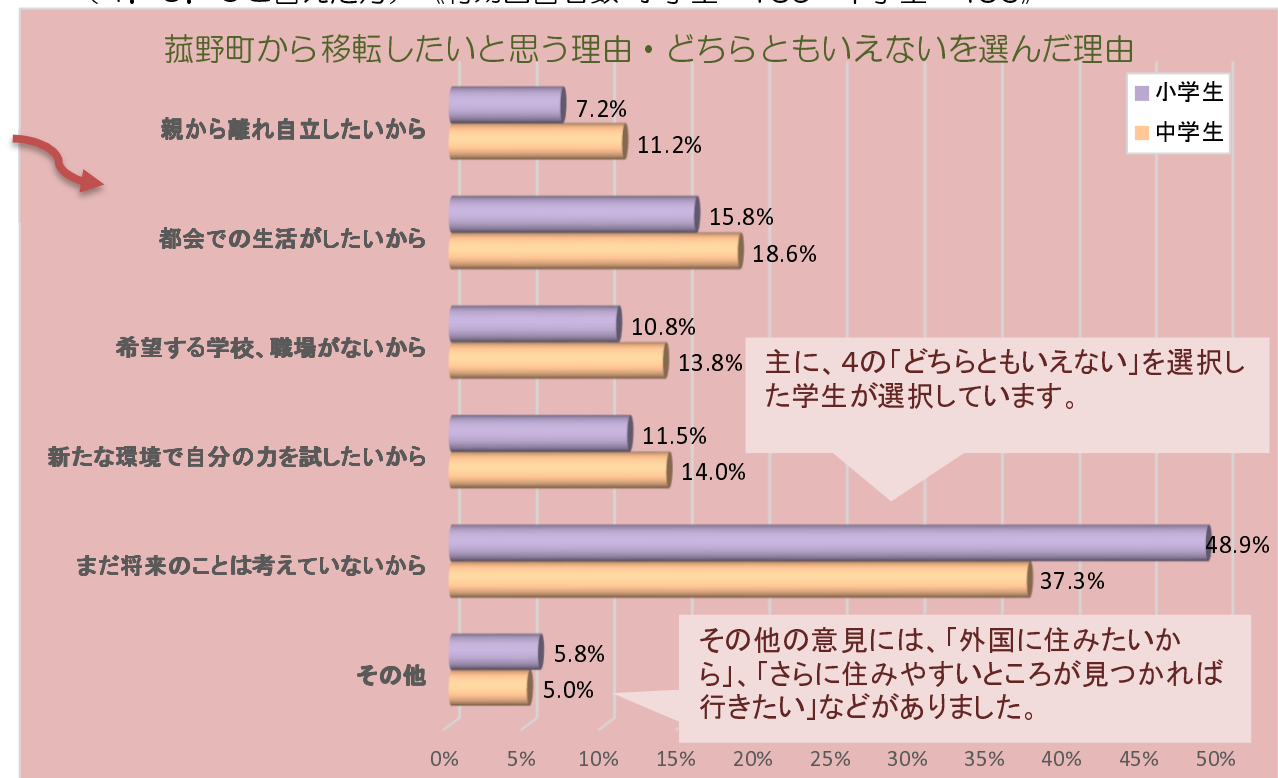
『将来は菰野町外に住みたい』と考えている小学生は、「朝上小学校」で22.4%、「菰野小学校」で17.8%と、他の学校に比べ多くなっています。中学生は、「菰野中学校」で19.4%、「八風中学校」で21.4%となっています。

2-3 問2-2で答えた理由を教えてください。

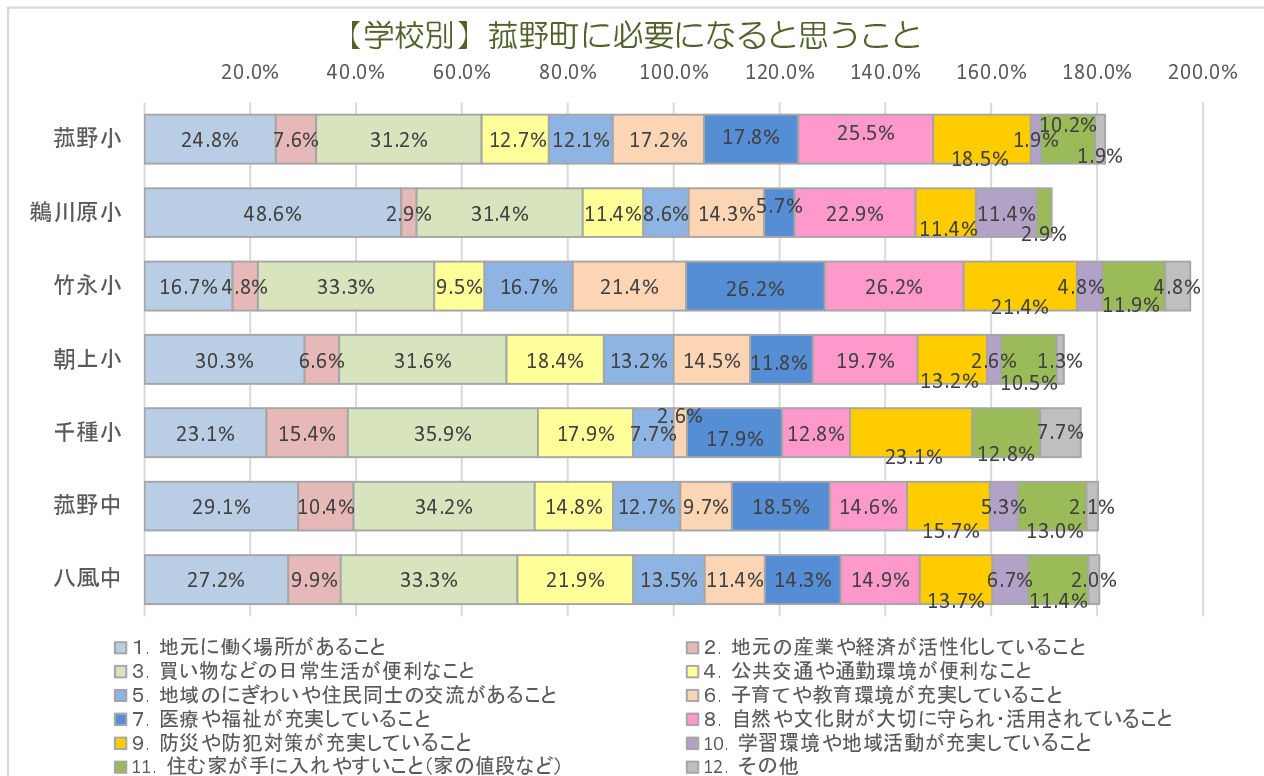
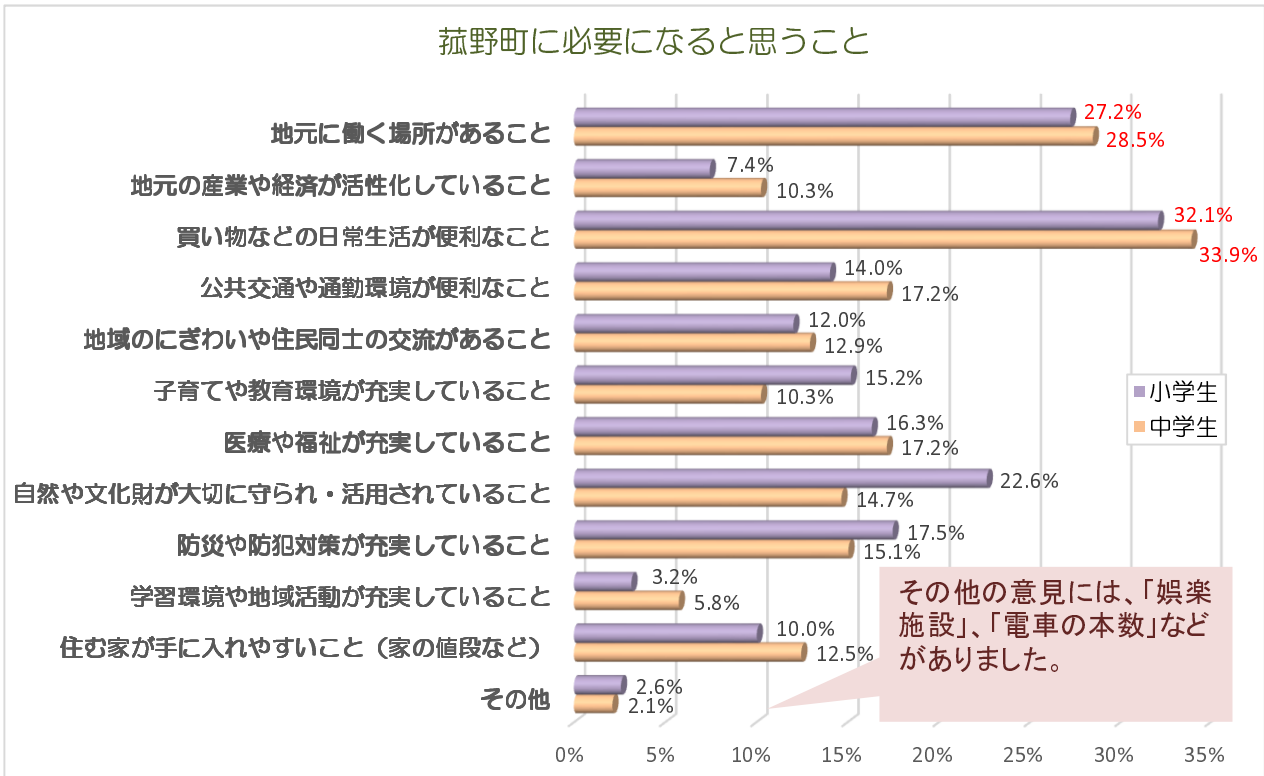
(1. 2. 3と答えた方) 《有効回答者数=小学生：195 中学生：506》



(4. 5. 6と答えた方) 《有効回答者数=小学生：139 中学生：456》

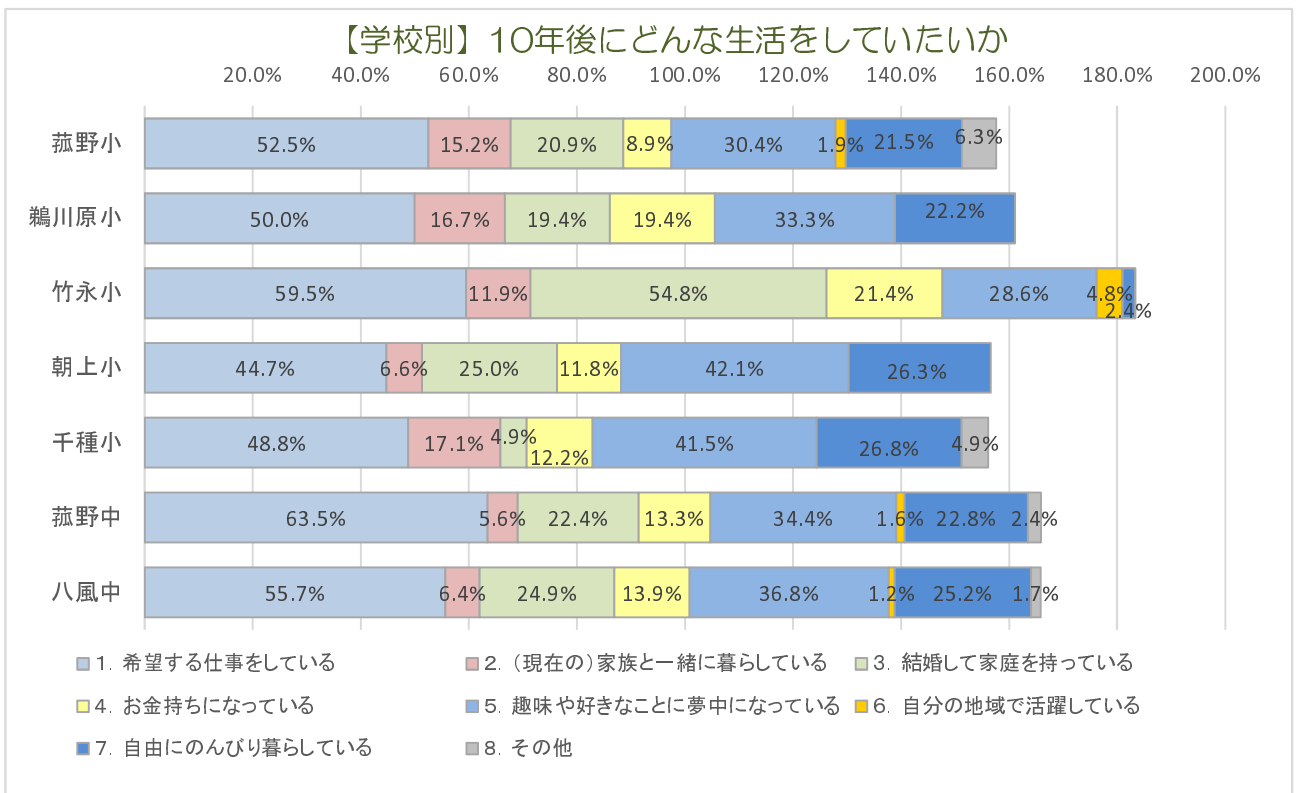
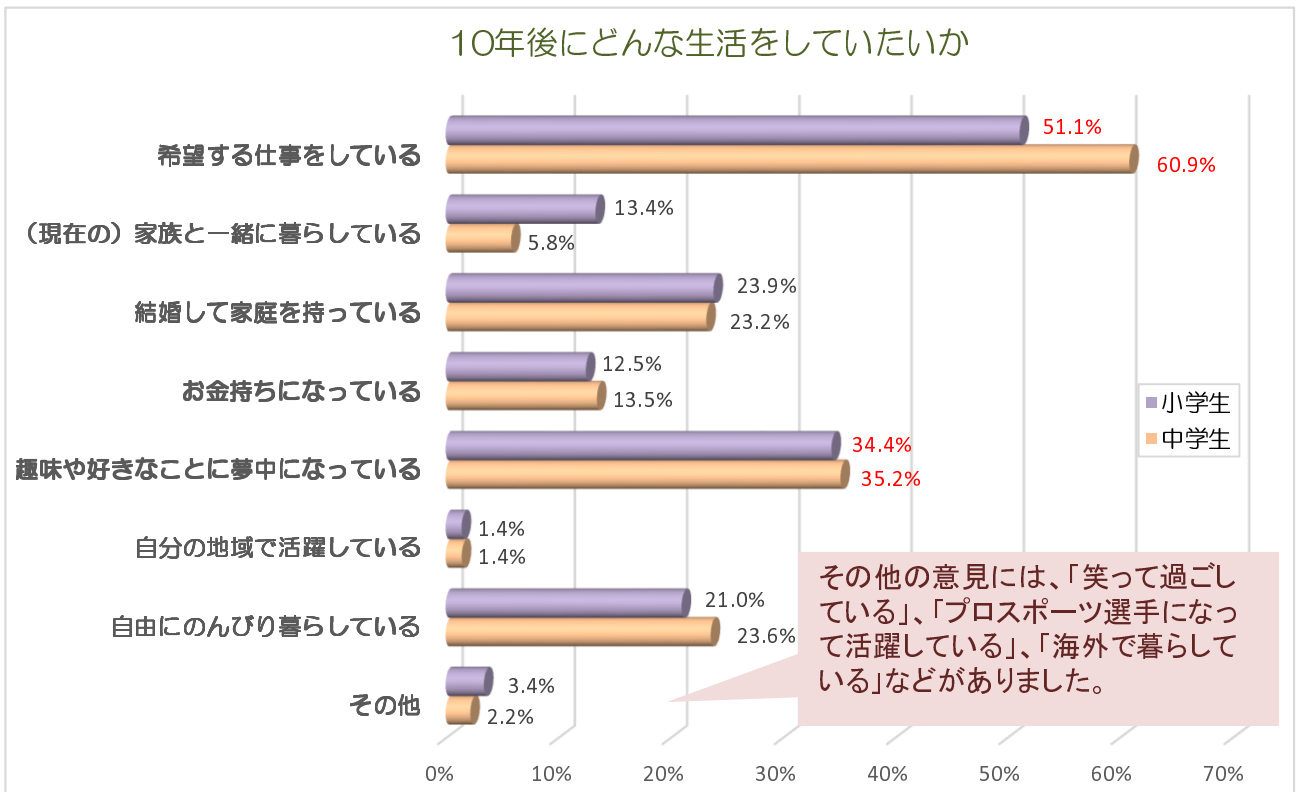


2-4 あなたが菰野町に住み続けるとしたら、町にはどのようなことが必要になるとお考えですか。
 《有効回答者数=小学生：349 中学生：1,043》〔複数回答2つまで〕



住み続けるために町に必要なだと思うことは、小学生、中学生とも「買い物など日常生活が便利なこと」が最も多く(小学生32.1%・中学生33.9%)、「地元で働く場所があること」が2番目に多い(小学生27.2%・中学生28.5%)理由でした。学校別のうち小学校では、「地元で働く場所があること」の項目が鶺川原小学校で多く、他の小学校より18.3%以上も高い結果となりました。中学校では、「公共交通や通勤環境が便利なこと」の項目が八風中学校で多く、菰野中学校に比べ7.1%高い結果となりました。

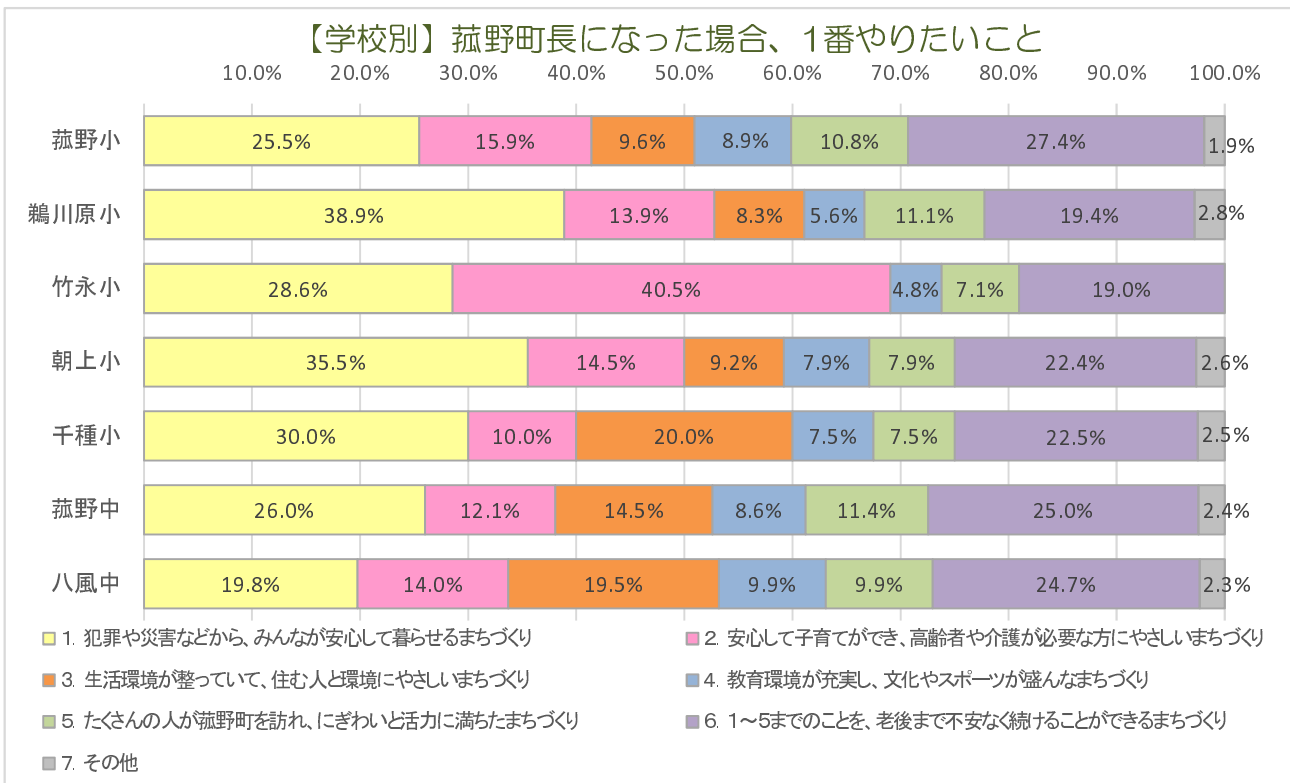
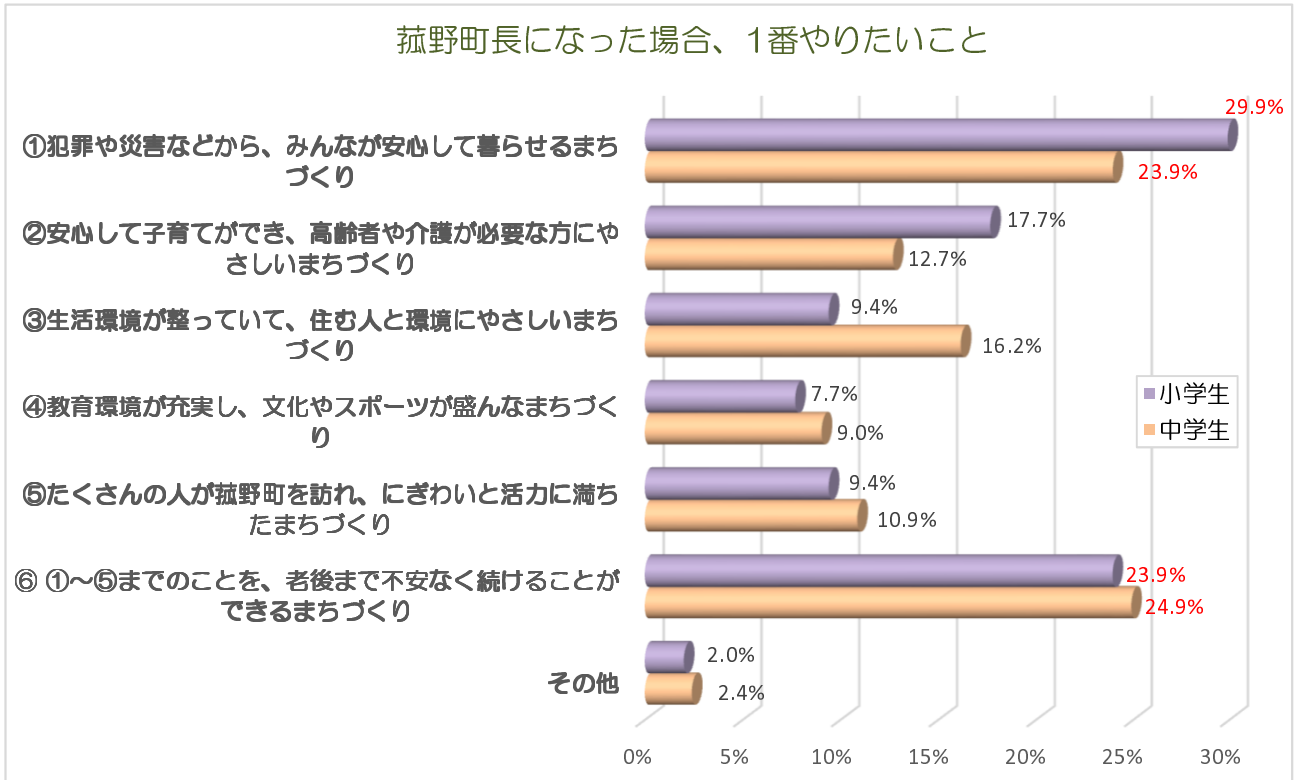
2-5 あなたは10年後どのような生活をしていきたいですか。
 《有効回答者数=小学生：352 中学生：1,046》〔複数回答2つまで〕



10年後にどのような生活がしていきたいかについては、「希望する仕事をしている」が最も多く、「趣味や好きなことに夢中になっている」が2番目に多い理由でした。学校別のうち小学校では、「結婚して家庭を持っている」の項目が、竹永小学校で多く、他の小学校より29.8%以上も高い結果となりました。中学校では、「ワーク・ライフ・バランス」を重視する傾向が見られる結果となりました。

3. まちづくりについて

3-1 菰野町をより良いまちにするために、もしあなたが「菰野町長」になった場合、1番やりたいことは何ですか。《有効回答者数=小学生：351 中学生：1,040》



この設問は、第5次菰野町総合計画の施策分野を想定しており、①～⑥はまちづくりの基本目標を表しています。具体的に①は「みんなでつくる安全なまち」、②は「健やかで思いやりのあるまち」、③は「人と環境にやさしいまち」、④は「元気で心豊かな人が育つまち」、⑤は「にぎわいと活力に満ちたまち」、⑥は「持続可能なまちのために」です。小学生、中学生ともに①と⑥が多い結果となりました。

あなたが菰野町長になって1番やりたいことは

【3-1】にて、菰野町をより良いまちにするために、もしあなたが「菰野町長」になった場合、1番やりたいことは何ですか、との設問にて「その他」を選んだ人の意見は下記のとおりです。

- ◆菰野町の伝統を残しつつ新しいものを取り入れ、活性化させていく
- ◆公共交通を整える
- ◆高齢者も社会人(大人)も子供も毎日楽しめるまちづくり
- ◆医療機関を増やす
- ◆全員が平等に暮らすことができる町づくり

【3-1】にて選んだ事を実現するために、具体的に何がしたいかは、下記のとおりです。⑥については、「持続可能なまちのために」でしたが、⑥を選んだ方については、①～⑤の内容を書いていたため、①～⑤に分類させていただきました。

【犯罪や災害などから、みんなが安心して暮らせるまちづくり】

(みんなでつくる安全なまち)

- ◆かく家庭に犯罪、災害グッズをおくようにする
- ◆犯罪や災害などどのようにしておこるのか調べて対策練る
- ◆建物の補強や、避難訓練、町の災害マップ配り
- ◆防犯カメラを設置する。災害予防にひなん所や堤防を設置しておく
- ◆避難所や備蓄を備え、1人1人が心に安心を持てるようにしたい
- ◆町の公共の建物の耐震補強や、暴力や盗みを注意する呼びかけをしたりする。
- ◆犯罪や災害が起きた時にどうすればいいかを決めておく
- ◆警察の巡回を多くしたり、夜真っ暗にならないように街灯をもっと増やす
- ◆防災訓練も本当に災害があったと思い一生懸命取り組む
- ◆災害から身を守るように避難所などを町民に周知する

【安心して子育てができ、高齢者や介護が必要な方にやさしいまちづくり】

(健やかで思いやりのあるあるまち)

- ◆色々なことを相談できる場所を作っていく
- ◆車イスのまま乗れるタクシーなどを増やす
- ◆これから高齢者の方が増えてくると思うので世話をしてくれる施設や子どもが遊べるところをつくる
- ◆高齢者や子どもが集まる行事をつくる
- ◆ユニバーサルデザインをすすめていく
- ◆お年寄りの人々のためにスロープを多くしたり、段差を少なくする
- ◆保育園保育士、介護施設介護士を増やしたい
- ◆けやきをもっとみんなに知ってもらえるようにする
- ◆親どうしの交流の場をもっと作る
- ◆子育てに困っている人たちに向けた相談室を設けたり、子どもが遊べるスペースを増やす
- ◆若い人が増えているからこそ介護知識を身に着け町全体が支え合っていけるようにする

あなたが菰野町長になって1番やりたいことは

【生活環境が整っていて、住む人と環境にやさしいまちづくり】

(人と環境にやさしいまち)

- ◆道路にゴミなどがなく、子どもや高齢者が安心にらせるようにしたい
- ◆通学通勤を便利にするために公共交通機関の発達
- ◆自然を利用した町の人々が集まれる場所を作る
- ◆月に1度、町の人とそうじをする
- ◆生活環境が整っていて、他の町の人が「ここに住みたい」と思える町にしたい
- ◆環境にやさしい町にするために、天然の木を使った家等をつくる
- ◆住民などの要望を聞く
- ◆自然を大きく破壊するような建物は建てない
- ◆自然と人々のバランスがよい町にする

【教育環境が充実し、文化やスポーツが盛んなまちづくり】

(元気で心豊かな人が育つまち)

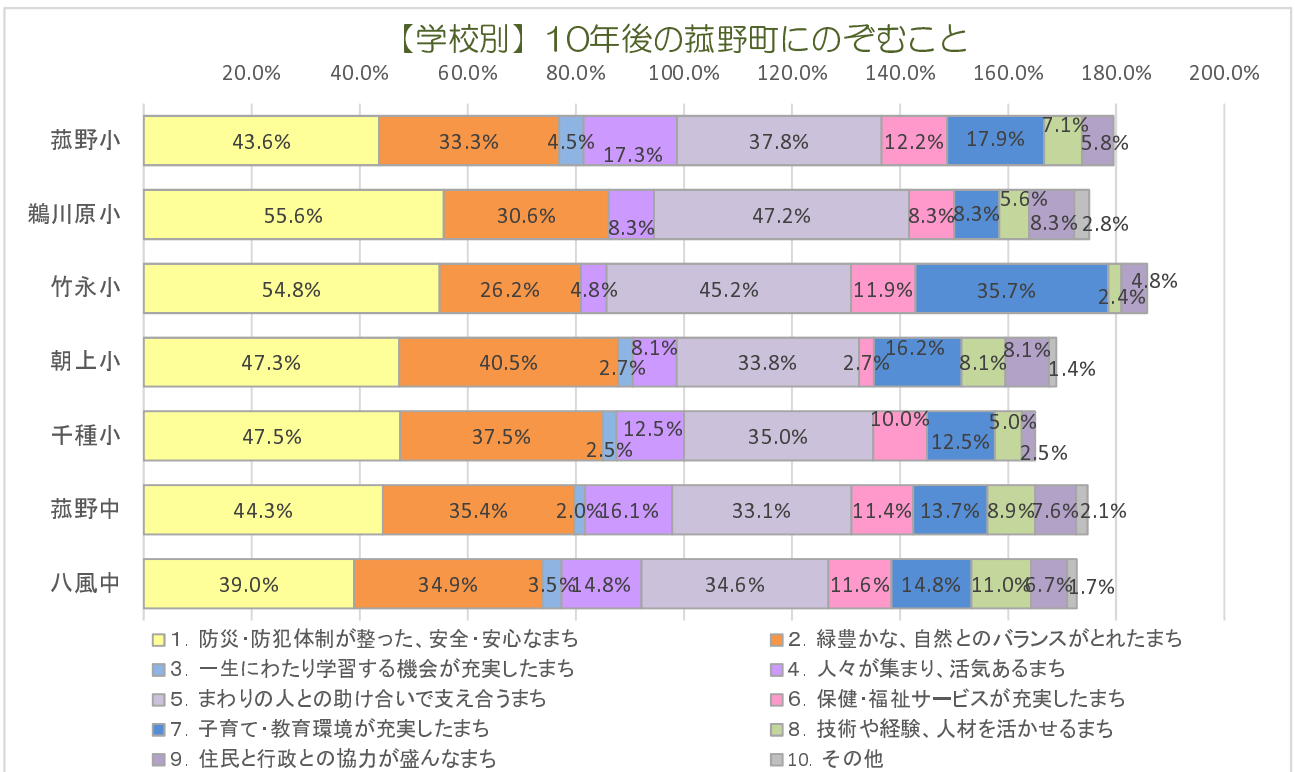
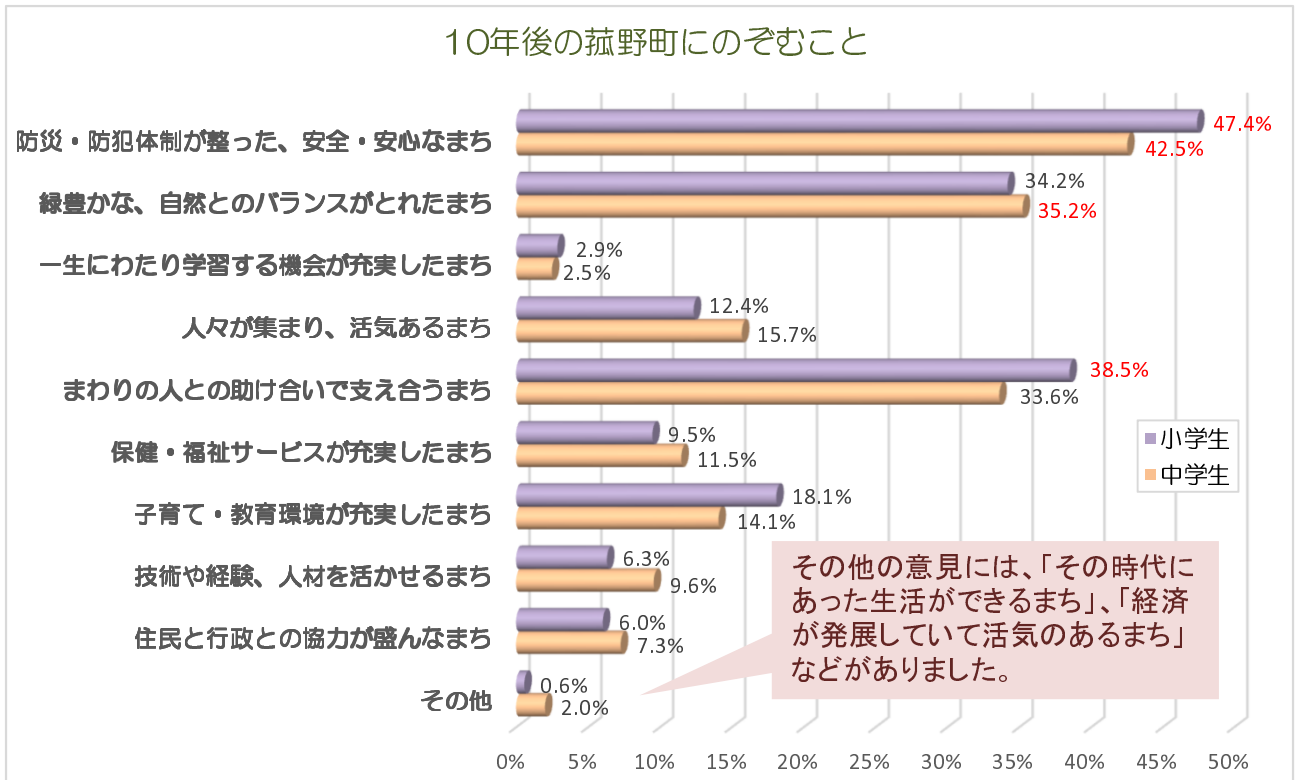
- ◆高齢の方から小さな子どもまで楽しめるスポーツイベントを企画したい
- ◆学校で放課後に地域の人と交流し、文化を知ったり深めあったりしたい
- ◆子供が遊べる場所を増やしたい(中学生でも楽しめるような)
- ◆オンラインで学習できる環境をつくり、学びを積極的にできる町にしたい
- ◆子供向けの文化・スポーツのイベントを増やす
- ◆教育はみんなが自分のいけんを言えて、スポーツはなるべくみんながやる
- ◆菰野町の文化を幼い子たちにも教えていきたい
- ◆児童館を造る
- ◆文化やスポーツを通して全町民が協力し合って笑顔になれるようにしたい
- ◆文化やスポーツのいいところを伝える

【たくさんの方が菰野町を訪れ、にぎわいと活気に満ちたまちづくり】

(にぎわいと活気に満ちたまち)

- ◆菰野町の自然をいかした観光地や遊ぶところを増やしたい
- ◆菰野町の文化を生かしたイベントを増やす
- ◆なにか他の所にはない物をつくる(菰野町にしかない食べ物など)
- ◆たくさんの方が菰野町をおとずれるために今よりもっとお祭りや行事をする
- ◆菰野の観光スポットをPRするためにメディアの取材を積極的にうける
- ◆外国や県外から訪れた人々がなじみやすいためにふれあえる機会をつくる
- ◆産業を増やしたい 温泉を有名にしたい
- ◆人と関わり、町外の友人などに良い所を伝える

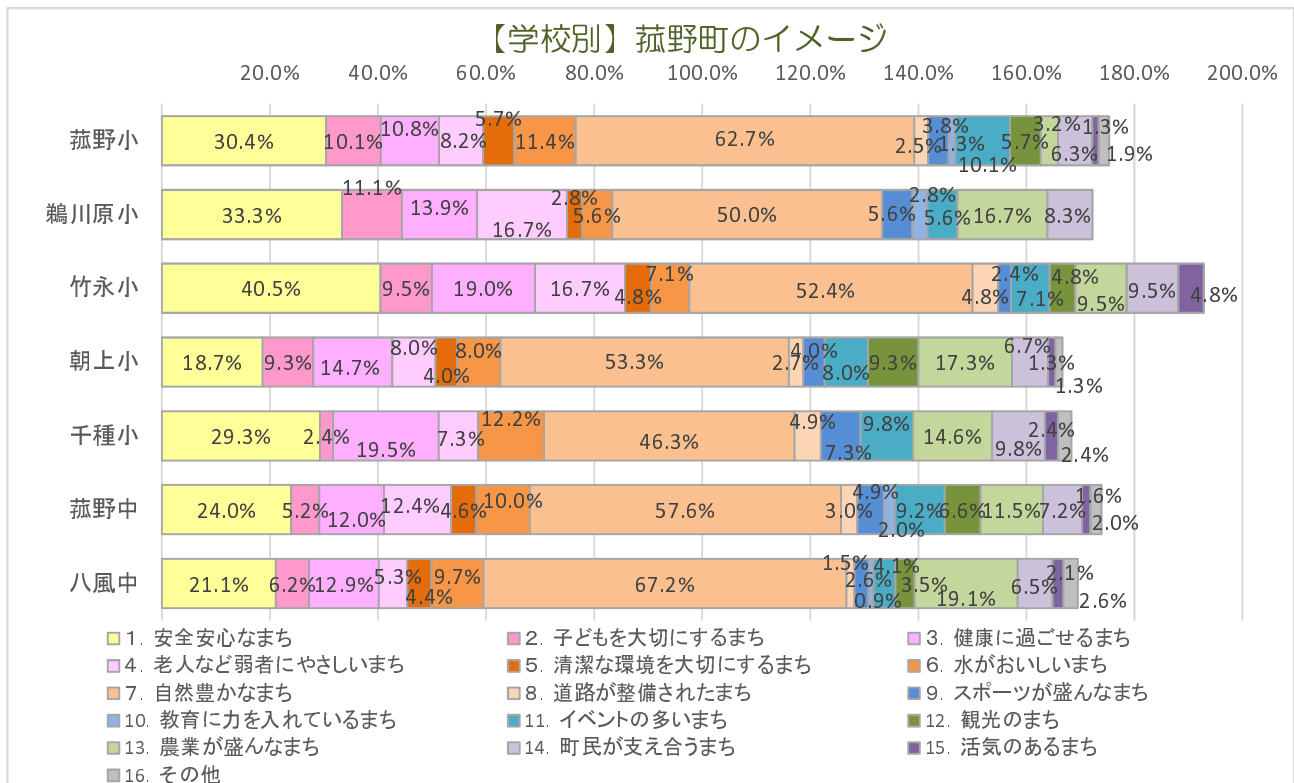
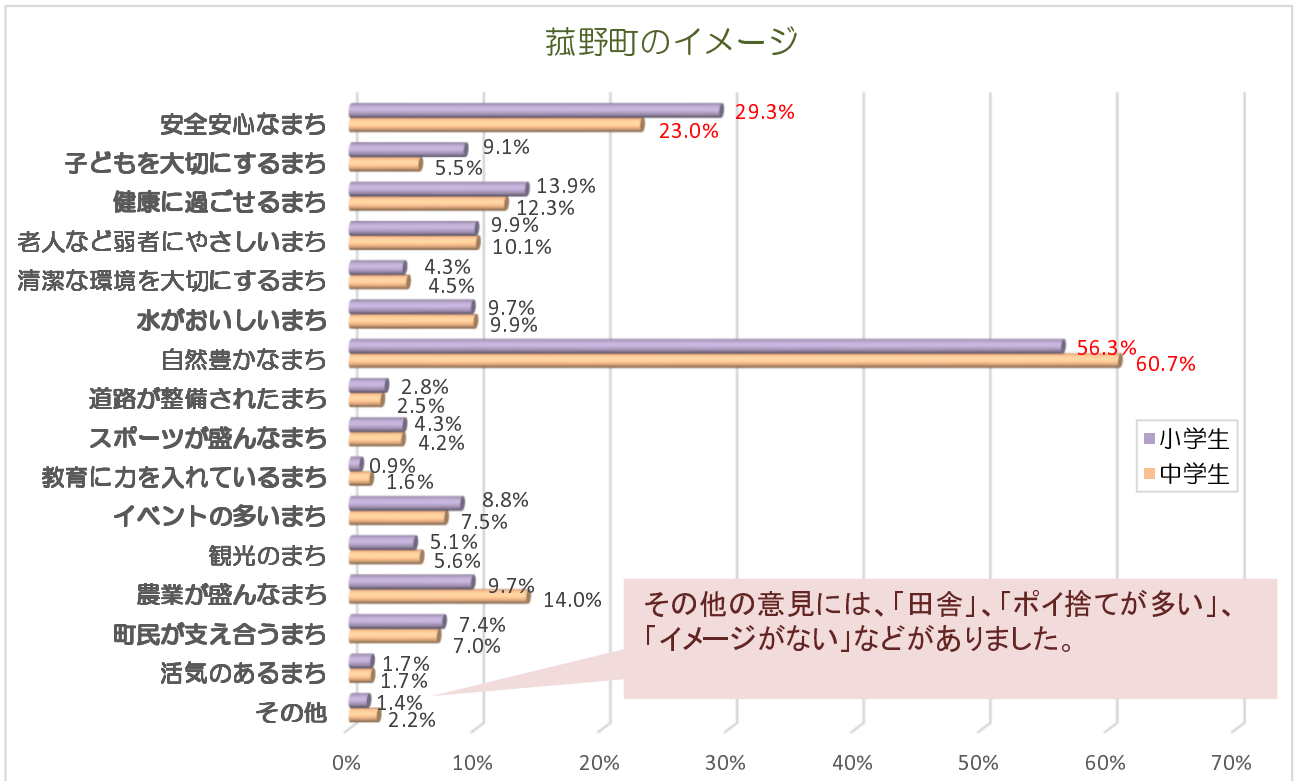
3-2 10年後の菰野町はどのようなまちになったら良いと思いますか。
 《有効回答者数=小学生：348 中学生：1,044》〔複数回答2つまで〕



10年後に菰野町にのぞむことは、小学生、中学生ともに、「防災・防犯体制が整った、安全・安心なまち」が最も多い(小学生47.4%・中学生42.5%)結果となりました。2番目に多かったのは小学生では、「まわりの人との助け合いで支え合うまち」で38.5%、中学生では、「緑豊かな、自然とのバランスがとれたまち」で35.2%でした。小学生、中学生ともに、10年後についても防災・防犯には関心が強い結果となりました。

4. 現在の菰野町について

4-1 あなたは菰野町にどんな印象（イメージ）をお持ちですか。
 《有効回答者数=小学生：352 中学生：1,034》〔複数回答2つまで〕



菰野町のイメージは小学生、中学生ともに、「自然豊かなまち」が最も多く(小学生56.3%・中学生60.7%)、「安全安心なまち」が2番目に多い(小学生29.3%・中学生23.0%)結果となりました。学校別のうち小学校では、「安全安心なまち」が竹永小学校と朝上小学校で21.8%の差があり、中学校では、「自然豊かなまち」が菰野中学校と八風中学校で9.6%の差があり、「農業が盛んなまち」は7.6%の差があり、地域による違いがみられる結果となりました。

【4-1】に関連し、菰野町を住みやすい町にするためのアイデアを教えてください、との設問に下記のような様々な意見が出ました。

菰野町を住みやすくするためのアイデア

【小学生】

- ◆安全や安心を考えた、防災、防犯体制をして、人々への危険を守るようにする
- ◆がいがいが少なく暗い道があってあぶないので、がいを多くした方が安全だと思います
- ◆安全な道を作る
- ◆子供に優しく接する
- ◆保健、福祉サービスが、さらに充実すること
- ◆老人のしせつや病院といったしせつを作ると住みやすくなると思う
- ◆老人のかたがたへのサービス支援に力をいれ教育をじゅうじつさせること
- ◆若い人も、お年寄りも支えあえる町にすること
- ◆お年よりになると買い物に行くのがつらくなるのでいろいろなところに行き物ができる場所をつくる
- ◆そこらへんにゴミなどをすてないこと
- ◆このまま自然豊かな町でいいと思う
- ◆公害・ゴミの不法とうきをなくし川や生きものにやさしいまちづくり
- ◆交通の便をよくするためにもしかバスや乗り合いタクシーの回数を増やす
- ◆行事をふやしていく
- ◆人と人が助け合う・イベントや交流会などを積極的に行う
- ◆スポーツできるしせつを増やす
- ◆観光しせつを増やす
- ◆もっとみんなが大きな声で「おはようございます」や「こんにちは」や「ありがとう」とあいさつをする
- ◆みんなが一人一人、協力し合う
- ◆もう少し町民が助け合えるといいと思う

【中学生】

- ◆人々の安全のために監視カメラをより多くつける
- ◆町の危険箇所や、安全な場所などを、詳しく分かりやすく書かれた防災マップを一家に一枚配る
- ◆自然も今後はあまり壊さずに、空気のおいしい安全安心な町だったらいいとおもいます
- ◆小中学生が通る道路など通りやすくする
- ◆偉い人だけで考えるのではなく、子供から大人までの意見をとりいれていく
- ◆子供を第一に考える
- ◆居場所が無かったり、貧しかったり、虐待をされている子供たちが安心して集まれて、安心して暮らせる施設を建てる
- ◆自然がたくさんあって健康的な生活を送れるようにする
- ◆安全な環境で町の人たちが平和に暮らし老人などにやさしいまちにしていきたい
- ◆豊かな自然を保ちつつ、ご老人の方が車を運転しなくても買い物に行けるような距離にお店を建てる
- ◆高層建造物を減らし自然環境を保つと良い
- ◆日本の在来生物(植物・生き物)を保護するため、町内の池などの外来生物を駆除し、自然環境を観光資源にして町を盛り上げる
- ◆道路に落ちているゴミとかを拾うボランティア活動をする
- ◆北部は特に交通の便が悪いのでのりあいタクシーで北部から南部へへ行けるようにしてほしい
- ◆もっと交流をよくし、もっと支えあうこと。いろんなイベントをかいさいすること
- ◆免許証返納後の交通手段を充実してほしい
- ◆もっとたくさんのイベントをたくさん開催しいろんな人がふれあえるようにする
- ◆菰野町民が応援できるプロのスポーツチームを作り、そのための施設を整える(スタジアムなど)
- ◆教育環境を整え、今より学力向上を目指せるような学校をきずいていくこと
- ◆美味しい水を無料でくばる。観光業をもっと増やして菰野町でしかない特産物をもてなす
- ◆ショッピングモールを建てる←活気が出る
- ◆菰野町には菰野町のよさがあると思うから、無理にかえなくていいと思う

【4-1】に関連し、現在の菰野町について、町外に住んでいる同世代の人たちに自慢できるところと、もっとこうなれば良いなと思うところを教えてください、との設問に下記のような様々な意見が出ました。

菰野町の自慢できる点

- ◆犯罪が少なく、自然豊かで安心できる所
- ◆けやきとかでいろいろなイベントがあったのしい
- ◆優しい人が多くて親切な人がいるところ
- ◆老人の方たちなどにとっても優しいところ
- ◆一年を通して季節ごとに様々な風景がある
- ◆田んぼが多かったりと自然が感じられるけど、買い物とかも普通にできて便利な所
- ◆いろいろな文化があり、自然豊かなところ
- ◆小中学校にエアコンがあるところ
- ◆スポーツ選手がいっぱい
- ◆体を動かせるような場所や施設があるところ
- ◆文化が受け継がれている
- ◆図書館がある。B&Gの習い事ができる
- ◆優しい友達がいっぱいて、イベントが楽しい点
- ◆観光でにぎわっている
- ◆農業がさかんなところ
- ◆マスコットキャラクターが可愛い
- ◆困ったことは誰とでも助け合える

もっとこうなれば良いなと思う点

- ◆もっと地震にそなえてほしい
- ◆がいとうがふえてほしい
- ◆目や足が不自由な人がくらしやすくする
- ◆老人用の施設や病院などあればいい
- ◆歩道のでこぼこをなくし老人が歩きやすくする
- ◆道を広げてほしい
- ◆環境をもっと大切にしたいほうがいい
- ◆再生可能エネルギーの利用拡大化
- ◆山道などのインフラ整備をしてほしい
- ◆土地を有効活用。自然を生かした遊び場所・もっと整備できそう
- ◆環境のことを教える施設があれば、将来も自然豊かなままになるとおもう
- ◆交通手段を増やしてほしい(かもしかバスの本数を増やしてほしい)
- ◆車が無くてもどこでもいけるようになること
- ◆もう少し教育に力を入れる
- ◆もっと交流をよくし、もっと支えあうこと。いろんなイベントをかいさいすること
- ◆先生がすぐ変わる、教室が少しせまいと感じるし、校庭もせまい
- ◆もっと図書館や本屋にある本が増えれば嬉しいです
- ◆人と人が助け合う・イベントや交流会などを積極的に行う
- ◆イベントを多くして町民たちがふれあう機会を増やすこと
- ◆(湯の山温泉)観光業に力を入れる。若い人が働ける場所をつくる。菰野町有名人にアピールしてもらおう
- ◆もっといろいろな観光地をつくって地域を元気ある町にしたい
- ◆何か全国に知られていくようなブランドとかがあればよい
- ◆会社が増えてほしい
- ◆あそぶところが増えたらいい

菰野町にこんな町になってほしい、こんな町にしていきたい！

【4-1】に関連し、現在の菰野町について思うことも含めて、こんな町になってほしいや、こんな町にしたいという思いを自由に記載してもらいました。

【小学生】

- ◆安全にらせて事故がない町。イベントを継続していける楽しい町(笑顔と協力)を大切にしていきたい
- ◆だれもが安心安全にらせる町！助け合う町！事故が少ない町！
- ◆じゅうぶん良い町だと思う。こうつうあんぜんなどとりくんでくださる人がいてそれだけでも自まんできる
- ◆健康に過ごせて教育に力を入れ、町民が支え合うまちになってほしいです
- ◆空気がきれいで、みんな仲良くて福祉が充実している
- ◆けんこうでやさしくがんばりやさんがたくさんいるまちにしたい
- ◆しぜんが多くて、子どもを大切にしたいあんしんあんぜんな町がいいとおもう
- ◆自然が豊かでのどかな町が続いていけばなと思う
- ◆人を助けたり、ゴミをひろったりルールを守る町にしたいです
- ◆10年後も、20年後も自然ゆたかな町であってほしい
- ◆今みたいに自然豊かが続くことと、他の町から来た人も安心して暮らせる町にしていきたいです
- ◆四日市やいろんな市、町から来てもらえるような町にしたいです
- ◆若い人たちが「住みたい」と思えるような町にして、人口をへらさないで、活気あふれる町になってほしい
- ◆しょう来たくさんの方が菰野町におとずれるようになること
- ◆みんなでのんびりすごしたり、イベントに行ったり、好きなことが自由に出来たらそれでいいと思う
- ◆住みたい町として全国に知ってもらいたい。でも、そのためにすることや具体的なことは、分からない

【中学生】

- ◆安心安全で住みやすいまち。楽しいまち。みんなが支え合うまち
- ◆災害などがおきた時に、みんなが協力できるようになってほしい
- ◆けやきがあるから人々が集まって交流しやすいのもっとそのような場が増えていけばなと思う
- ◆ゴミが落ちていなくて、自然がたくさんあるきれいな所でありつづけてほしい
- ◆未来の菰野町は、平和で活気あふれだれも交通の困らない町になってほしい
- ◆高速道路もでき、便利になったが、自然も大事にしたい。自然を守りながら発展する町になってほしい
- ◆公共交通機関を整えたら、高校や大学に行きやすくなるし、車の運転ができない老人の行動できる範囲も広がると思う
- ◆観光スポットなどが多くできるのはいいけど自然が壊れないように両立していきたい
- ◆町外の人にも、「自然豊かな所」や「農業が盛んな所」などの菰野町のいい所をもっと知ってもらいたい
- ◆自然豊かで観光スポットなどがふえて菰野をもっといろんな人に知ってもらいたい
- ◆自然が豊かなところは残しつつ観光客がたくさん来るような工夫をして、人気の観光地になってほしい
- ◆有名な物や、観光地が増え、観光客でにぎわう町になって欲しい
- ◆いろんな人とあいさつができる菰野町になってほしい。自分もいろんな人とあいさつできるようにしたい
- ◆町を出たみんなが「帰りたくなる町」であることと、菰野の人で良かったとおもえるような町になってほしい
- ◆自分の将来に不安を持たずに生きれる町となしてほしい
- ◆今も住みやすい菰野町ですが、さらに住みやすくなるような町になってほしい